

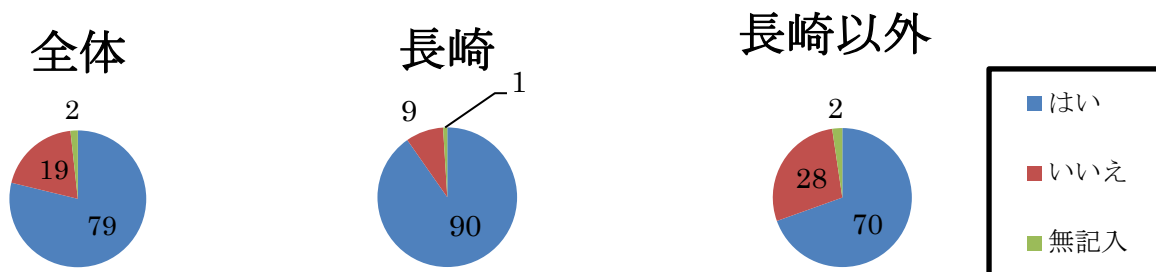
学生部「平和意識調査」

【アンケート回収数】

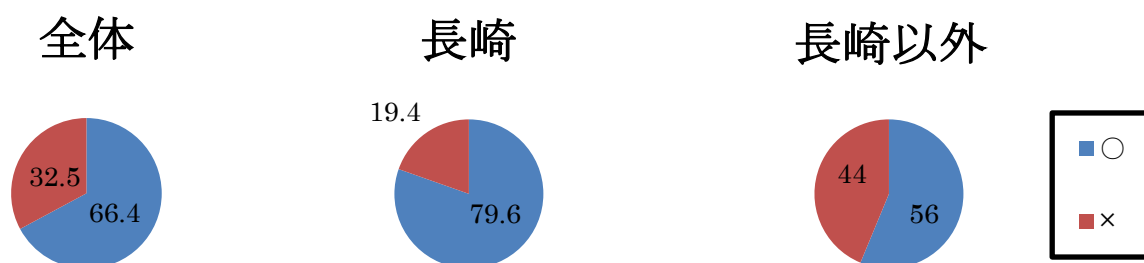
全体 231 枚（長崎出身：103 長崎出身以外：128/男性：163 女性：68）

※グラフ内の数字は全て%です

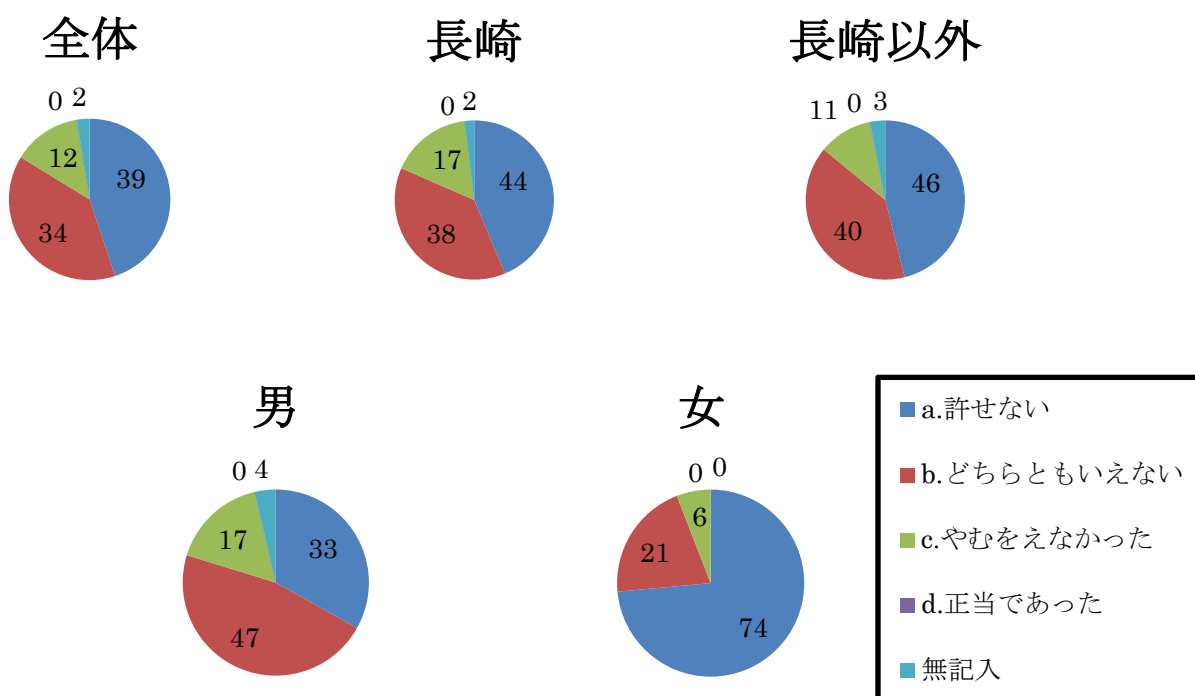
1、あなたは今までに、戦争についての話を家族（祖父母、親戚）から聞いたことがありますか。



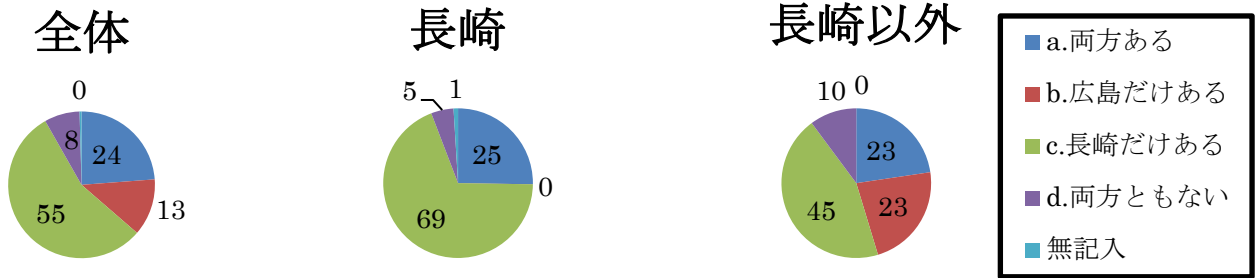
2、 第2次世界大戦中に、原子爆弾（原爆）が広島、長崎に投下されました。広島、長崎に原爆が投下された日はいつですか。



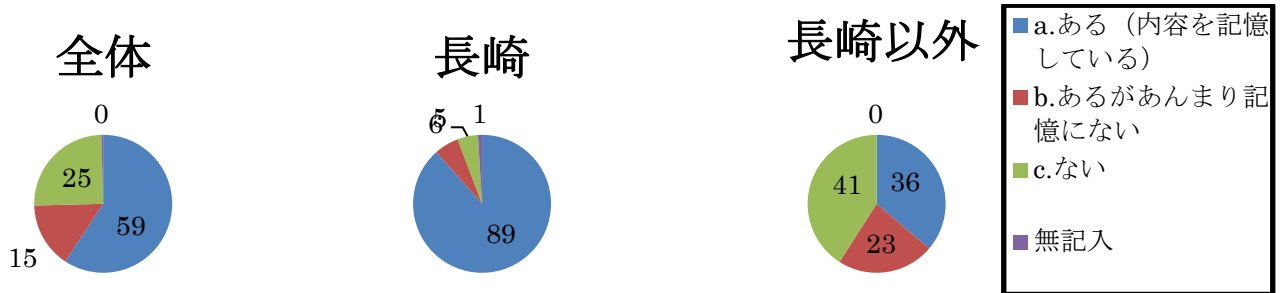
3、 あなたは、広島・長崎への原爆投下に対してどう考えていますか。



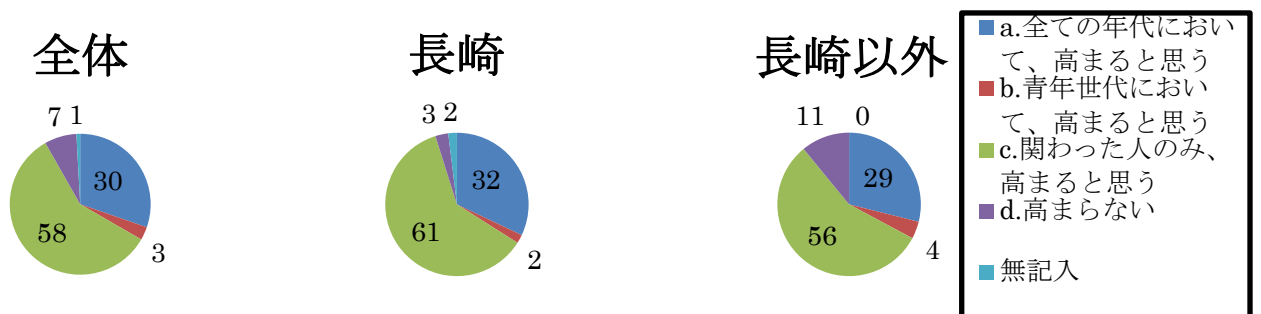
4、あなたは広島や長崎の原爆資料館や死没者記念館を訪れたことがありますか。



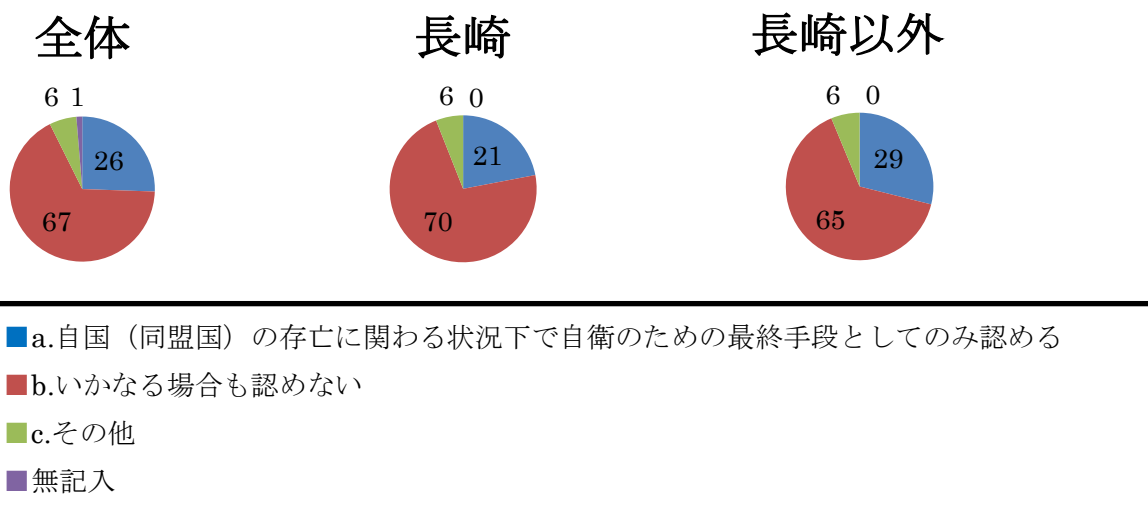
5、あなたは被爆者の被爆体験を直接聞いたことがありますか。



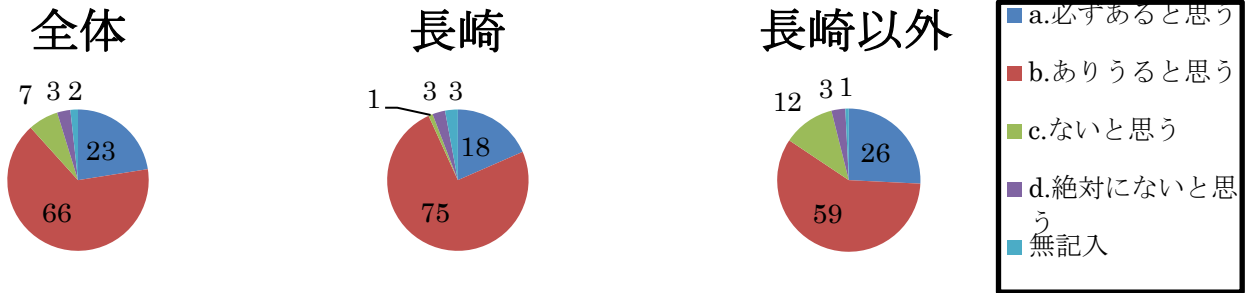
6、現在、被爆体験を聞く会や被爆体験集の発刊など、様々な取り組みが行われていますが、そういった取り組みを通し、平和への気運は高まるとおもいますか？



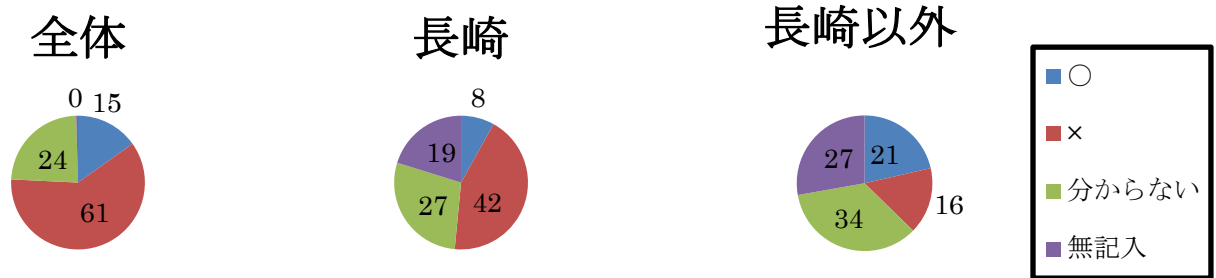
7、あなたは、核兵器の存在についてどう考えますか。



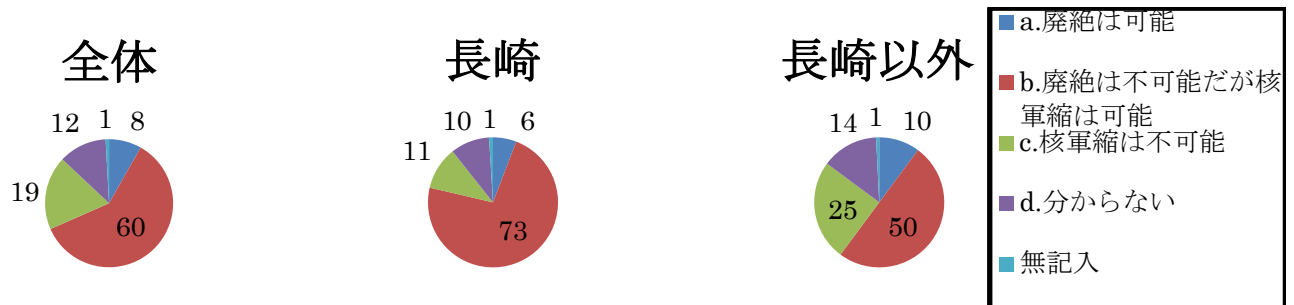
8、 今後、戦争・紛争、テロ等で核兵器の使用があるうるとおもいますか。



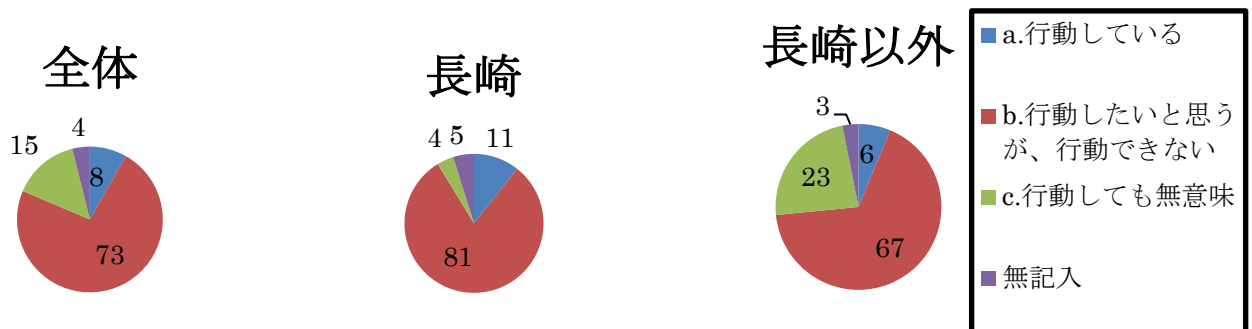
9、 核兵器は現在、地球上におよそいくつ存在すると思いますか。



10、核兵器は廃絶可能と思いますか。



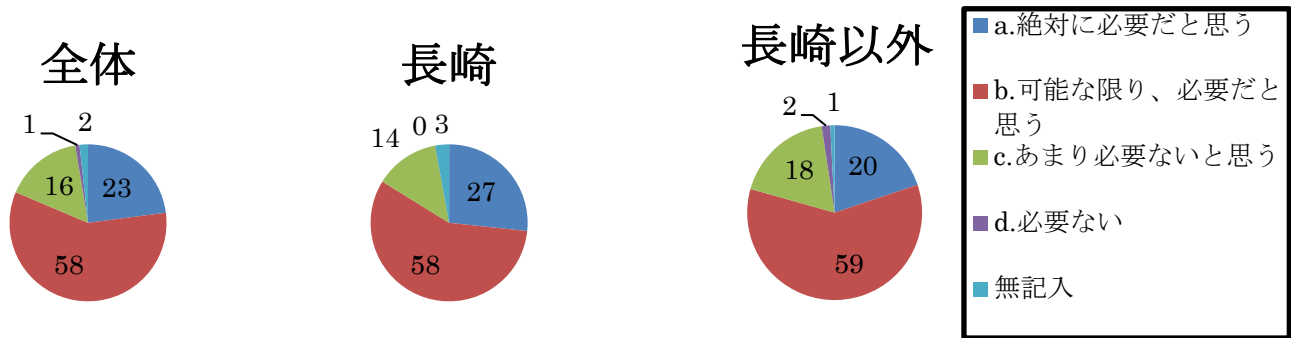
11、あなたは、平和に繋がる行動をしていますか。また、あなたが思う平和に繋がる行動とは何ですか。



○平和に繋がる行動とは

- 募金活動
- 原爆資料館に行く
- 世界の子供たちを原爆資料館に招待する
- 助け合いの精神を持つ
- NGOに参加する
- マイ箸を持ち歩いている
- ゴミ拾い
- 被爆者の話を聞く
- 大学の平和講座を受講する
- 大学時代に真剣に勉強する
- 公平な報道がされるようにする

12、本年4月、広島で非核保有国12カ国による「軍縮・不拡散イニシアチブ（NPT）」外相会合が開催され、各国の首脳が原爆ドームや広島平和記念資料館などを訪れることで被爆の実相を胸に刻みつけました。こうした流れを青年世代に広げるために、各国の青年世代、特に学生世代が被爆地を訪問することは、今後必要だと思いますか。



13、あなたが考える「平和」とは何ですか。ご自由にお書き下さい。

- 戦争・争いが無いこと
- 「平和」とは何かを意識せずに生きること
- 戦争によって人類の発展が進んできた以上、人類が減びないかぎり「平和」はない
- 難しくわかりません
- 音楽ができること。平和がなければ音楽はできないから
- 話し合いだけで全てが解決する世界